

令和6年度 課の運営方針書

地域振興部 菊川支所・菊川市民センター

1 課の運営方針

【課の使命】

地域住民の身近な行政機関として、基礎的な行政サービスを提供するとともに、地域の要望を吸い上げて、自助、共助に資する支援を行うとともに、公助の必要な課題については、関係部署へ適切な対応をお願いしていきます。

また、市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、地域のコミュニティ活動の拠点として、積極的な支援を行っていきます。

【課の目標】

①わかりやすく、親切で、スピード感を持った窓口、電話対応に努めます。

OJTや支所窓口マニュアルの見直し・更新を行うとともに、研修等により職員のスキル向上を図り、窓口対応のレベルアップを目指します。

②地域住民からの声や要望等には、迅速且つ適切に対応していきます。

地域住民からの要望については、内容を的確に把握し、担当課と連携して対応していきます。

③地区社会福祉協議会の活動を支援します。

福祉員の見守り活動や敬老会などの地域活動を積極的に支援していきます。

④地区のコミュニティ団体の自主的、主体的な活動を支援し、地域コミュニティの醸成を図ります。

住みよい菊川をつくる会や放課後子ども教室の事務局として、活動が住民主体になるように、地域住民との調整を行います。

⑤地域防災体制の充実を図ります。

地域の自主防災組織と連携し、防災・減災に努めます。

【行財政改革への取組み】

①良好な市民サービスの提供のため、ワークライフバランスの推進、体調チェック等により、職員の健康管理に努めます。

②若手職員の指導、育成、研修等の機会を通じ、従来の接遇・業務等を見直し、接遇の向上や業務の効率化等を図ります。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

課の使命を共有し、使命達成のため、支所長兼市民センター所長を補佐していきます。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	11人	うち	正職員	5人	・	会計年度 任用職員	6人	人件費	正職員	36,030千円	会計年度 任用職員	千円
-----	-----	----	-----	----	---	--------------	----	-----	-----	----------	--------------	----

※R4職員平均給与(7,206千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	0千円	歳出予算額	0千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	0事業
-------	-----	-------	-----	-------------	---------	-----

4 課の中期目標（優先順） 第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	9 都市経営 2 適正かつ透明な行政運営の推進 1 適切な行政サービスの提供	支所、教育委員会事務局出張所、選挙管理委員会支局として、それぞれの分掌事務を迅速かつ正確に処理し、適切な行政サービスを提供し、市民の利便性の向上を図ります。
2	5 福祉・健康・医療 1 地域福祉の推進 1 地域福祉活動の推進	地区社会福祉協議会の事務局として、当該団体と市社協、地区の福祉員協議会、民児協、地域福祉コーディネーター等との連携を図るなど、当該団体の活動を支援し、高齢者の見守り活動などの地域福祉活動を推進します。
3	3 地域づくり 1 地域コミュニティの活性化 4 地域づくり推進体制の強化	コミュニティ推進連絡協議会の事務局として、地域課題の解決や地域イベントなどの活動を支援し、心のふれあう文化的で明るく住みよいまちづくりの推進体制を強化します。また、その他の地域団体の事務局として、各団体の活動を支援し、地域の振興を推進します。
4	2 生涯学習・人権 1 生涯学習の推進 1 生涯学習推進体制の充実	市民センター（分館を含む。）の維持管理・運営を行い、自主学習グループ等に活動の場を提供するとともに、放課後子ども教室の事務処理、各種講座の開催などにより、生涯学習を推進します。
5	4 安心安全 1 災害に強いまちづくりの促進 1 地域防災力の強化	本庁の防災担当課、地域の自主防災組織、県のダム管理事務所などと連携し、各組織との連絡体制の強化や地区住民の防災意識の向上を図ります。